

ROTARY INTERNATIONAL  
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



OFFICE OF GOVERNOR OF DISTRICT NO. 360  
JOJI YASUNO  
C/O HOTEL NEW NAGOYA  
4-1, HORIUCHI-CHO NAKAMURA-KU NAGOYA, JAPAN



No. 6 (NOVEMBER 15, 1972)

昭和47年11月15日

第360区 各ロータリークラブ

国際ロータリー第360区ガバナー

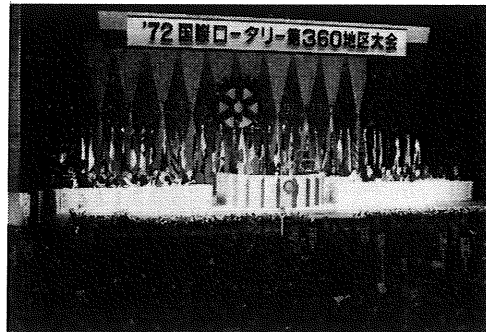
会長並びに幹事殿

安野 譲 次

Let's Take a New Look

もう一度見直そう

ロイ・D・ヒックマン



第360地区年次大会 (ホスト 岡崎 R.C.)

11月の言葉

ガバナーの三つの大切な仕事の一つである地区大会は、10月21日(土)、22日(日)の2日間岡崎 R. C. のホストで成功裡に終わったのであった。1,781名のロータリアン及びその家族のご参加を得て開会したこの大会は、岡崎 R. C. 及びコホストの岡崎南 R. C. の1年余にわたる熱心なご努力によって実現したものであって在来の地区大会と違った企画を二つ持ったこの大会がどのようになるか、私は大きな希望と心配を抱いてぶつかっていったのであった。

記念講演に代るポールハリスの青年期を脚色した劇の上演と四つの部門の討議グループを職業別討議グループに組みかえたこの企画は、正直言って私にはあまり自信が無かった。しかし周囲の方々のご好意と友情によって予期以上の成功を得た。

「Let's Take a New Look」を「温故求新」と表現したこの大会は、何処かに徳川時代の落ち着いた安定感と1970年代に進むダイナミックな雰囲気兼ね備えていたのである。

笹気幸助 R. I. 会長代理の講演は、物静かな口調で万場を魅了し、「水に溺れる子供を見てわれわれは救わないわけにはいかないではな

いか……。インドやベトナムを救うのはわれわれのやらなければならないことである」と言われる頃、場内は海底のように静まりかえっていた。

地区大会の決議は各号とも満場一致の賛同を得た。また50名のポールハリスフェローの表彰も印象深い光景であった。

この大会をこのように成功に導いた陰の功勞者内藤 P. D. G. のことをソットお話し申し上げたいのである。

大会が近づいてくると内藤さんは大会事務所へ毎日ご出勤になっていた。私が電話をしても直接出てお話しするようなことはなさらない。飽くまでも大会役員に任せていられる。お昼になると先ず皆を昼食にお出しになってご自身は代りの方が帰って来られるまで昼食に出られない。恐らく内藤さんのご昼食は2時か3時であったのであろう。何かというと前面にシャッパリ出たがる私と比較して内藤さんのこの静かな奉仕を私は自身の大きな反省の材料としたのである。

さて皆様この大会を360地区の皆様はどのよう受け止めておられるのであろう……。ヒックマン会長のように私は皆様の今後の行動を期待しているのである。



## ロータリー財団週間


11月12日～18日

### 親愛なる同僚ロータリアン諸君：

私は年度の当初に、ロータリアンの皆さんに「ロータリーをもう一度見直そう」と要請いたしました。われわれロータリアンは、個人並びに総合的な努力により、ロータリーの絶えざる発展に寄与しております。ロータリー財団週間—11月12日～18日の1週間は、この努力を更に高めるのに絶好の機会と存じます。

今日ロータリー財団プログラムとして知られているものは、1947年に開始されて以来、数千の青年男女がロータリーの後援の下に、海外へ「若い使節」として送り出されていることであります。これ等の若人達は、帰国後それぞれ政府の高官になり、また有力な専門職業人や実業人になっております。そして海外に居住した年を彼等の生涯の中の華々しい年として記憶し、その後如何なる職業に従事しているにしても、世界平和と理解のために働くようになったのはその1年の影響だと考えております。これもひとえに、世界中のロータリアンからの絶大な寄付があったればこそ可能になったことであります。1972—1973年度だけでも、ロータリー財団は教育補助金、研究グループ交換補助金、特別補助金及び教師奨学金として2百万\$の支出を予定しております。

私はここに、皆さんにこの輝かしいロータリー・プログラムの達成を思いおこしていただきただ単に金銭の寄付のみならず、財団のために貴重な時間と努力の貢献についても、各自がその努力をもう一度再評価されるようお願いする次第であります。各クラブもこの特別週間にはそれぞれの例会において、ロータリー財団のための特別プログラムを考案し、援助することが出来ます。——乃ち年度を通じての例会に補助金受領者を招待したり、その地区内の財団補助金受領者の適当な候補者を選定したり、その寄付率の順位向上を計り、またクラブ会員に財団への寄付を奨励したりして、財団の支援に協力することが出来るのであります。



ロイ D. ヒックマン  
会長

### あなたの方の

ロータリー財団……は、約150カ国のロータリアンたちの国際的大事業であります。それは異なる国々の人々の間に理解と親善を増進することを目的とするものであります。有能で前途有望な青年男女が、財団の費用によって海外に留学します。これら青年男女は、彼らに助言と助力を与えるロータリアン並びにその家族によって、留学国の実生活に触れる機会を与えられます。それによって彼らが得る心暖まる、有意義な体験は、ロータリーの教育補助金制度を国際的研究プログラムの中で、極めて特異な存在とするのであります。

本年は700名以上の若人たちが補助金を受けました。このプログラム開始以来の補助金受領者は、4,700名以上に達しております。なお、ロータリアン、その親族並びに扶養家族は、補助金を受ける資格がありません。

**教育補助金** 300以上あるロータリー地区のそれぞれから、毎年少なくとも1名の男子または女子が、1年間の海外留学のために選ばれています。留学の目的は、大学院または大学課程レベルの勉学、或は専門的訓練であります。また心身障害者或は教育上ハンディキャップのある者の教育に経験ある教師に授与されます。

補助金受領者はいずれも優秀な学生で、しかも親善使節としての資格を持っていないとはなりません。彼らの正規の勉学は、留学地のロータリアンの手配による社会的その他の接触によって、ますます充実されます。留学生たちは帰国の上、ロータリーその他のグループに対して海外における彼らの経験を報告することになっていきます。

**研究グループ交換** このプログラムは、経験ある青年実業人および専門職業人のチームを、特別に計画準備された研究プログラムに従って数週間他国へ派遣するものであります。ロータリー財団が旅費を支給し、受入地区のロータリアンたちが滞在中の世話をするのであります。補助金の支給は、研究チーム交換のため海外の地区と組み合わせられたロータリー地区に対してなされるのであります。

チームのメンバーは、研究先の国において広く社会と接触し、帰国後その体験を多数のグループに披露するのであります。

**特別補助金** ロータリー・クラブと地区によって提唱され、且つ経費の一部が負担される教育的または慈善的計画として選定されたものに対して、ロータリー財団が補助金を与えるものであります。

この補助金は、ロータリー財団の現行プログラムと重複する計画には支給されません。

**あなたにできること** ロータリー財団は、ロータリアン各自の自発的努力と、その財政的援助とに依存しております。

あなたにできることは、

- 財団補助金に対し、最良の候補者を見出すのを援助すること；
- クラブの財団委員会の委員になるか、または他の方法により、財団の発展に寄与すること；
- 金額のいかんを問わず、毎年財団に寄付すること。すべての寄付は、あなたのクラブの功績となり、クラブのパーセンテージ順位に反映します。しかし最も大事なことはそれが財団プログラムを推進し、発展させることであります。

### サステイニング

#### コントリビューター制度の廃止

この表彰制度は、1971年シドニー大会において廃止され、その代りにポールハリス準フェローとして取扱われることになりました。本部からは認定のしるしとしてポールハリス準フェローのカードが送られてまいります。これはポールハリスフェローとなるための追加のご寄付を義務づけるものではありません。

また、以前にサステイニング・コントリビューターとして認定された、ご寄付額は本部で記録されており、もしポールハリスフェローをご希望されるならば1968年7月以降に寄付された額は、準フェローと同じように加算されます。

## 世界社会奉仕活動について

(地区委員会 鮎谷賢太郎)

今日、世界の動きを見てみますと拡大する情報網が完備すればする程、ロータリーの奉仕活動の必要性を感じます。昔は隣りの国に起ったこともすぐ解らなかつたのですが、この頃のようにラジオ、テレビやその他の報道網が身近になりますと、また私共の国が経済復興で幸せな生活になればなる程、この世界にこんなたくさん貧しい、生きるための苦しみをしている人がいるのかと思う程痛ましいニュースが毎日聞えてきます。助けきれない貧困と災害が起っています。われわれロータリアンの義務はそれを見ているのではなく、許された方法でできる限りの援助の手をさしのべねばなりません。ロータリーの奉仕は理想でなく実践することと思ひます。金銭や物を送るだけで事は済まないことはよく承知しています。しかしわれわれの今の立場では金銭で援助をし、善意を実行することが唯一の方法でありましょう。

7月以來地区委員会として行なつた事業の一部を紹介し、今後一層の世界奉仕の実をあげるためご協力をお願いいたします。

1. フィリッピン、ルソン地区は去る7月末曾有の台風、水害に見舞われ、浸水家屋40万、被害者150万を出しました。380区ガバナーからの要請に応じ、救援金1,000米ドルを送りました。
2. 同国ルソンに近い孤島ジャマリグ島に昨年アメリカのロータリアンから贈られた金で唯一の医療所ができましたが、維持費に苦しんでいる(医師を呼ぶ費用)とのマカチ R. C. から知らせてきたので費用の一部として300米ドルを送金しました。(R. I. プロジェクト408)
3. タイ国バンカッピ R. C. からの要請に従い、同地パンヤン身体障害者病院兼授産所へ飲料水設備(500米ドル)を寄贈しました。(プロジェクト324)
4. インド、アフリカ、ネパール、台湾等で医療活動を行なっている日本キリスト教団海外医療協力隊へ10万円寄付しました。
5. ラオス、ビエンチャン R. C. からベトナム戦災者及び避難民180万の救済援助の要請がありました。地区から500米ドルを早速送金しましたが、その後この援助に対する特別募金に対し、下記のクラブから早速参加の申し込みをいただきました。厚くお礼申し上げます。

碧南 R. C.	¥ 5,000
伊那	¥ 5,000
小牧	¥ 5,000
東海	¥ 5,000
常滑	¥ 5,000
高浜	¥ 5,000

岡崎南 R. C.	¥ 5,572
豊橋	¥ 5,000
豊田	¥ 10,000

なお、最近本部から送られました世界社会奉仕プロジェクト一覧表から下記を抜粋しました。援助のできるクラブは当委員会へご連絡下さい。

1. インドへ顕微鏡等 費用約 \$ 400  
(プロジェクト685)
2. チリーの身障者施設へ 16mm 撮影器、映写機 (プロジェクト478)
3. 韓国へ水道設備 \$ 280  
(プロジェクト827)
4. 韓国へ毛布、シーツ、枕等 \$ 500  
(プロジェクト829)
5. マレーシアへ図書 \$ 100 ~ \$ 1,000  
(プロジェクト532)
6. インドへトラホーム予防設備 \$ 1,500  
(プロジェクト399)
7. フィリッピンへ飲料水設備 \$ 750  
(プロジェクト765)

## 大会議事録の郵送

1972年(ヒューストン) 国際大会議事録が11月各ロータリークラブ幹事宛に発送されます。この議事録には同大会における報告演説、講演、パネル討論などの全文、制定案及び決議案についての規定審議会の決定概要、同大会での主要講演者並びに余興番組のハイライトなどの写真が掲載されています。

国際大会議事録は例会プログラム、新会員の同化教育等々に活用できるロータリー情報の豊富な資源となるものです。

もしもロータリアンの方で議事録が入用でしたら、限られた部数しか残っておりませんが、1部につき2ドル50セントで中央事務局より入手できます。

## クラブ業績報告の提出

新しく企画、作成されたクラブ業績報告書(Club Achievement Report)用紙がヒックマン会長の趣意書とともに11月中旬に全クラブ会長に送付されます。

この新しい報告書式は毎年、年に2回、全クラブへ送付し、ロータリー年度の12月及び6月に経る各半期におけるそのクラブの事業、及び活動についての報告を求めるものです。この報告書式の目的は、世界中のロータリークラブにおける諸活動についての情報を収集調査することです。

各クラブの会長はこの報告書式に遅延なく記入し、提出して下さい。

書式は3通ずつクラブ会長へ送付されます。1通は中央事務局へ送付し、1通は地区ガバナーへ、もう1通はクラブの記録用です。

(11月1日付事務局総長からの書翰より)

# 10月出席率

昭和47年11月10日調

順位	クラブ名	会員数	出席率	例会数	前月順位	前月会員数	増減
1	名古屋北	86	100	4	1	84	2
1	豊橋	86	100	4	1	87	-1
1	松本	76	100	5	1	77	-1
1	豊田	72	100	4	1	72	
1	犬山	64	100	4	1	64	
1	大根	60	100	5	1	60	
1	春日井	60	100	4	1	60	
1	飯田	56	100	4	1	56	
1	豊西	44	100	5	1	44	
1	色色	39	100	4	1	39	
1	名古屋和合	35	100	4	1	35	
1	尾張旭	33	100	4	19	33	
1	辰野	31	100	4	61	31	
14	江津	43	99.42	4	18	43	
15	井	32	99.38	5	1	32	
16	飯田	65	99.21	4	1	65	
17	津島	63	99.18	4	21	63	
18	岡谷	43	98.84	4	62	43	
19	名古屋港	89	98.82	4	37	84	5
20	碧南	62	98.79	4	16	62	
21	豊南	45	98.67	5	31	45	
22	名古屋東南	68	98.49	4	23	66	2
23	名古屋中	62	98.37	5	27	60	2
24	稲刈	42	98.20	4	25	41	1
25	刈	54	98.14	5	17	53	1
26	宮北	62	97.98	4	20	62	
27	名古屋東	77	97.92	5	22	77	
28	伊那	59	97.85	4	29	58	1
29	岡崎	58	97.72	4	1	57	1
30	松川	31	97.58	4	28	31	
31	名古屋守山	68	97.37	4	30	66	2
32	戸倉上山田	28	97.30	4	42	28	
33	小牧	45	97.20	4	45	44	1
34	一宮	78	97.04	4	35	78	
35	安城	52	96.94	4	26	52	
36	豊川	54	96.76	4	48	54	
37	名古屋南	107	96.65	4	40	107	
38	飯島	26	96.55	4	53	26	
39	名古屋西	131	96.33	4	38	131	

平均出席率 96.33%

40	瀬戸	60	96.21	4	39	59	1
41	小西	45	96.08	4	24	44	1
42	西田	50	96.00	4	32	50	
42	常滑	50	96.00	4	44	50	
44	常滑	50	95.91	4	33	50	
45	あま	58	95.86	5	46	58	
46	岡崎	70	95.42	4	43	70	
47	高松	47	95.20	4	34	47	
48	松本	78	95.18	4	36	77	1
49	松本	20	95.12	4	49	21	-1
50	大井	40	95.00	4	59	40	
51	豊橋	83	94.33	4	1	83	
52	半田	63	94.05	4	52	63	
53	三河	29	93.96	4	58	29	
54	東海	41	93.90	4	55	42	-1
55	浦郡	65	93.85	4	41	65	
56	東浦	40	92.18	4	60	37	3
57	上野	52	91.33	4	51	52	
58	長野	59	91.23	4	47	59	
59	名古	205	90.96	4	56	206	-1
60	渥新	32	90.84	4	65	33	-1
61	渥新	35	90.59	4	66	35	
62	渥新	52	90.52	4	57	53	-1
63	丸	60	89.16	4	64	29	1
64	長尾	63	89.14	4	50	63	
65	尾	39	87.18	4	63	37	2
66	木曾	38	86.19	4	54	39	-1

会員数合計 3,780名 19名

# 12. 1月の公式訪問日程

12月6日	稲沢
7日	名古屋西
8日	新城
9日	一宮
11日	名古屋中
15日	春日井
18日	刈谷
20日	豊川
1月16日	名古屋
17日	岡崎
18日	名古屋東南
19日	田原
22日	名古屋東
26日	尾張旭

## メッセージボード

### ▽ 公式訪問日変更

新城 R. C. 11月24日 → 12月8日  
 名古屋中 R. C. 12月4日 → 12月11日  
 名古屋東南 R. C. 1月11日 → 1月18日  
 春日井 R. C. 1月12日 → 12月15日

### ▽ 出席報告について

毎月の出席率の報告は必ず8日までに着くようにお出し下さい。やむをえず遅れる場合は電話でお願いします。しかしこの場合は必ず後で書類もお送り下さい。

### ▽ 世界のロータリー

1972年10月27日現在、国際ロータリーは149の国及び地理的地域にわたり15,451のロータリークラブと約724,000人のロータリアンを有します。1972年7月1日以降、29カ国より85の新クラブが国際ロータリーに加盟しました。

## Rotary International

### 国際ロータリー第360区ガバナー事務所

安野 讓 次

〒450 名古屋市中村区堀内町4-1

ホテルニューナゴヤ内

電話 (052) 551-5131

地区幹事 大森 喜代三郎